

高齢者住宅新聞：
2022年1月5日号より
(発行元：高齢者住宅新聞社)

第9回 LIFEフィードバックの活用事例

LIFE活用による
介護DX推進



株式会社
ブルーオーシャンシステム
営業部 営業課課長
沖本 崇
(おきもと たかし)

映像制作会社、ブライダルカメラマンから介護業界へ入職。営業部門、カスタマー部門を経て現在は主に営業推進、広報活動に従事。創業から介護業界のDX化を推進する会社の思いを伝えるエンバジェリストとして活躍中。

今回は社会福祉法人鈴鹿福祉会が運営する三重県の特別養護老人ホーム「鈴鹿グリーンホーム」の事例を紹介します。LIFEの前段であるCHASE実証実験に参

加し、必要なPCネットワークの整備と関連加算取得に必須である専門職の採用を推進されました。併せて、職員全員がPC入力する必要性を強く感じ、教育体制の見直し

し、多職種連携の運用手順の見直しも実施しました。さらに、職員のPC入力による「負担増」に対し介護ロボットを活用することで夜勤業務の省力化を図り、バランスを取りました。ここでは事前のネットワーク整備が功を奏したようです。現場職員からは「不安

暫定版データから読み取れること



▲鈴鹿グリーンホームではLIFEフィードバックデータを活用している

生活改善の具体的な取り組みができたこと成果を実感されています。業界全体で大きく期待されるフィードバック活用ですが、現在まで暫定版データの提供に留まり具体的な活用ができていないの意見も聞かれます。鈴鹿グリーンホームでは、事業所フィードバックより認知症高齢者の日常生活自立度を中心に、

要介護度、認知症診断結果、パーセルインデックス合計点などのデータを「全国平均」と「当ホーム」とを比較し施設の従来方針である基本的な認知症ケアを徹底することに間違いがないことが確認できました。またデータを

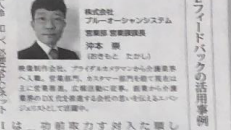
用いられ、利用者家族や関連機関へホームの取り組みや実績を説明できます。さらに三重県内の工業地帯・山間部・都市部などのエリアごとにデータを区分できればより活用の幅が広がります。次回はユーザー自身で作成したオリジナル操作研修マニュアルより、ケア現場に応じた活用事例を紹介いたします。



200種類のお菓子宅配

利用者の声にサービスに反映

LIFE活用による
介護DX推進



株式会社
ブルーオーシャンシステム
営業部 営業課課長
沖本 崇
(おきもと たかし)

暫定版データから読み取れること



【2022年・東京都】サービス付き高齢者向け住宅 2棟オープン予定!!

【特定施設入居者生活介護 申請予定】

<p>2022年2月OPEN予定 東京都練馬区大泉学園町</p>	<p>2022年6月OPEN予定 東京都杉並区上井草</p>
--------------------------------------	------------------------------------

「ローベル西台」(板橋区)、「ローベル西萩」(杉並区)に続く、都内3・4番目となる新しい介護施設がオープンします。

株式会社 東日本福祉経営サービス
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-3-9 詳しくは
0120-652-165 <https://www.ej-welfare.jp/> 東日本福祉